

学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ

真剣味



中京大学

広報 188号

2016年7月29日発行



リオ五輪壮行会を開催 (p.6)

7月17日、中京大学主催の壮行会が開かれ、出席者約450人が選手らを激励した。

主な内容

- ② 100周年記念事業委員会発足
- ③ 近代公文書自動解読プロジェクト
- ④-⑤ 各賞受賞／著書紹介
- ⑥-⑦ 壮行会を初開催／ショートビジット
- ⑧-⑨ 中京大学決算／梅村学園決算
- ⑩ 中京大学予算／梅村学園予算
- ⑪ 織田信雄書状公開
- ⑫ 学生ボランティア活動
- ⑬ 中京人往来
- ⑭-⑮ 2017年度入試

●題字が新しくなりました。樽本樹邨先生(中京大学名誉教授)に揮毫していただきました。

●表記について…掲載された方々の肩書き、学年は全て行事の行われた時のものです。

梅村学園100周年

記念事業委員会が発足



委員長に就任した北本専務理事

梅村学園専務理事が5月2日発足した。記念事業推進の基本方針などを決める第2回委員会を10月26日に開催する。

学校法人梅村学園が2023年に迎える創立100周年に向けて、記念事業を立案、実行する「梅村学園100周年記念事業委員会」(委員長・北本暢

の学園5教育機関の代表者、同窓会などの代表者ら40人の委員で構成し、年2回開催する。委員会の下に、準備会議(年4回開催)、草案策定会議(月1回開

催)を設けた。事務局は中京大学学園事業推進部が担当する。100周年記念事業に関連しては、総合スポーツメーカーのミズノとの連携協力協定に

基づき、体育会用デレゲーションウェアの開発、スポーツキャラクターをイーグル(鷲)で統一する作業を進めている。

「清信塾」300周年 水戸市と11月に協定

また、梅村家第4代の梅村清茂先生が享保元年(1716年)に水戸城下で開いた家塾「清信塾」の300周年を記念して、今年11月12日に梅村学園と水戸市が包括協定を結ぶ予定。さらに、中京大学豊田キャンパスの新体育館建設などを第一弾とする学園総合整備計画の推進、この計画に合わせて寄付事業を展開することに

なっている。

委員会の冒頭、梅村清英総長・理事長は「100周年に向けて歩みだします。どういう記念事業がふさわしいか、委員の皆さんの知恵を拝借しながら検討していきたい」と挨拶した。北本委員長は「梅村学園の歴史は、諸先輩が時代の変化に応じて改革と改善を継続して進めてこられた結果です。我々は100年後の後輩のために引き継いでいく責任があります。改革、改善を怠ることなく、少子高齢化など教育界が直面する厳しい状況を乗り越え、記念すべき事業にかかわっていきます」と、記念事業に取り組む決意を述べた。

鈴木・スポーツ庁長官 公開講座で講演、満席に

中京大学公開講座の健康・余暇・スポーツシリーズ第29回講座が6月9日、名古屋キャンパス清明ホールで開かれた。ソウ

官の鈴木大地氏が「スポーツの価値を高めるために」新たなスポーツ行政のカタチ」をテーマに講演し、500席の会場はほぼ満員の盛況だった。

鈴木長官は、昨年10月発足の



鈴木長官



高橋教授

スポーツ庁が「各省庁にまたがって行われることが多

ル五輪競泳金メダリストで初代スポーツ庁長

かったスポーツ行政を一つにまとめました」などとわかりやすく説明した。スポーツには、健康増進、国際競技力の向上、国際的地位の向上、地域・経済活性化、子供のスポーツ機会の充実の役割があるとし、スポーツの普及により、医療費の抑制につながるなどの「健康経営」の視点も説

明した。講演に続き、高橋繁浩・スポーツ科学部長との質疑応答が行われた。ともにロサンゼルス、ソウル五輪に出場した仲間同士でもあり、スムーズなやり取りが会

場を楽しませた。高橋学部長が「施策の実行などに対する苦労」を聞くと、鈴木長官は「民間から突然、国家公務員になりましたが、いろいろな省庁から来た職員の人たちの協力を得ながらやっています」と話していた。鈴木長官の公開講座に合わせ、「中京大学スポーツ・ミュージアム構想」の第1回プレ・オープン展示が図書館・学術棟1階で行われた。1964年東京五輪のポスターなど五輪関連の史料などが展示され、鈴木長官をはじめ、公開講座聴講者、学生ら

が熱心に見学した。



近代公文書自動解読 システム開発が本格化

日本の近代公文書を自動解読するシステムの開発を目指し、中京大学の社会科学研究所、人工知能高等研究所、大学院情報科学研究科の3者による学際プロジェクトが本格化している。戦前の「台湾総督府」が保管していた手書き文書を研究対象とし、自動解読する基礎的な研究を今年6月から始めた。7月29日には、公立はこだて未来大学（北海道函館市）と学術交流協定を結び、中京大学の画像処理技術、はこだて未来大学の文書画像検索の技術をシステム開発に応用する共同研究もスタートする。

はこだて未来大と共同開発へ

台湾総督府文書は、1895年（明治28年）から1945年（昭和20年）の日本が統治していた期間に作成、保存された日本の行政等に関する近代古文書。日本国内ではこうした文書は大半が廃棄、散逸しているが、台湾総督府文書には唯一体系的に残されている。ただ、手書きのうえ、文章自体が近世古文書の流れを汲む難解な表現となっており、解読が難しい。

これまでに私学振興財団、科研費、トヨタ財団、日本財団、交流協会などから総額約4億円の補助金を受けて、「台湾総督府文書目録」を30巻、大正3年までの「台湾総督府文書目録データベース」の作成、台湾関係の叢書や史料集を刊行してきた。

しかし、文書は全体で約1万3000簿冊（100簿冊）50



打ち合わせをするプロジェクトメンバー（左から 社会科学研究所鈴木哲造研究員、檜山教授、社会科学研究所東山京子研究員、工学部目加田慶人教授、同長谷川純一教授、同山田教授）

システムを数年で開発にこぎつける方針。こうしたシステムが開発されれば、台湾総督府文書に限らず、国や地方自治体が保管する近代古文書、一般の手書き文書などにも応用が可能になる。

山田教授によると、技術的には、機械学習によって文字の

0ページ）と膨大な量があり、内外の研究を促進するため、長谷川純一情報科学研究科長、山田雅之工学部教授らが協力し、自動解読システムの開発プロジェクトを昨年からスタートさせた。

今年6月には、5簿冊分の写真データを入手し、文字、単語を画像処理で取り出し、解読したうえでコンピュータに蓄積し、専用の手書き文字辞書を作成している。こうした基礎研究に対し、三菱財団から2016年度に300万円の助成を受けた。

プロジェクトでは、単語の読み取りの次の段階として、古文書を文節ごとに自動的に解読できる

特徴を理解させるパターン認識の技術に応用する。はこだて未来大学は走り書きの同じ文字を見つける「文書画像検索システム」をすでに開発しており、この技術の応用も期待されている。

山田教授は、「光学文字認識（OCR）は以前からあり、これに予測しながら読むという人の読み方」を付加し、人工知能を加味したものを開発するのが目標です」と話している。

梅村学園と愛知県トラック協会 連携協定を締結、業界と初



協定書を取り交わす梅村総長・理事長（写真左）と小幡会長

健康を促進し、広い意味での流通業界をしつかりとサポートしていくことで経済の活性化に貢献したい」と連携協定の意義を述べた。

愛知県トラック協会会長小幡銀伸氏は「中京大学との連携により健康面、特に予防について取り組んでいきたい」と語った。

中京大学を運営する学校法人梅村学園と一般社団法人愛知県トラック協会は4月15日、連携協力に関する協定を締結した。今後、両者で安全運航の確保、実践的な人材育成、健康増進などの課題解決などを図り、双方の発展を目指す。梅村学園、中京大学が業界団体と連携協定を結ぶのは初めて。

中京大学名古屋キャンパスで行われた式で梅村学園の梅村清英総長・理事長は「ドライバーの

愛知県トラック協会は研修センターを拠点に愛知県内の会員企業2500社、約8万5千人のドライバーを対象に研修を行っている。中京大学は学生の実習の場としても研修センターを活用することを検討している。

●大森達也 総合政策学部教授

日本応用経済学会学術論文賞を受賞



大森教授



受賞の楯

大森達也総合政策学部教授(学長補佐)が日本応用経済学会の2015年度学術論文賞を受賞した。6月25、26日に広島大学東広島キャンパスで開催され

了)とともに表彰された。対象となった論文は『応用経済学研究』第9巻に掲載された『Treat the Earth: Natural Environment, Fertility, 学 研究 科 修

た同学会2016年春季大会で共著者の法政大学の北浦康嗣准教授(08年本学経済

and Government in an Overlapping Generations Economy」。

「環境は子孫からの借り物である」というアメリカ原住民の言い伝えをヒントにして、自然環境は子孫への遺産の問題としてとらえ、政府が環境保全のために直接的に環境規制政策を行う、もしくは政府は人々への環境教育を通じて環境保全活動を行うとき、公的な環境政策が親世代の子どもの数の選択や自らの現役期の消費と引退期のための貯蓄行動に及ぼす影響を理論的に分析した。直接的な環境政策よりも環境教育を行うことを重視したとき、親世代は自らの消費を増やし、将来のことを考える親世代は子どもの数を減らそうとするが、自ら

の消費を享受できるように親世代の社会的な満足度は改善されることを明らかにしている。

理論的な研究への貢献だけでなく、環境問題への政策的適用性が優れており、政府による直接的な環境政策と環境教育への公的投資を通じて環境改善政策を考察することによって、環境教育投資への意義について論じた独自性が評価され、受賞に至った。

大森教授は「今後も研究を進め、中央大学の教育に反映できるように精進していきたい」と受賞の喜びを語った。

●奥水 大和 工学部教授

情報処理学会フェローの称号



奥水教授

工学部電気電子工学科の奥水大和教授が(社)情報処理学会からフェローの称号を

認証され、6月3日に学士会館で認証式が執り行われた。奥水教授は名大院博了(工博)、名大助手、名市工研を経て86年より本学勤務。04年から情報科学部長、情報理工学部長、情報科学研究科長を歴任、現在、人工知能高等研究所長、梅村学園評議員。日本顔学会

会長、画像センシング技術研究会会長、情報処理学会東海支部長などを務める。フェロー称号認証の理由は、

「大局視覚・視覚感性情報処理の研究」において先導的な学術業績が顕著であったこと、情報科学技術フォーラムFIT2007、2014年度電気・電子・情報関係東海支部連合大会などの実行委員長としての「学会活動」への顕著な貢献があったことが高く評価された。

情報処理学会は会員数2万人超の情報処理分野の最大。本年度の称号は、京大、慶大、九大、東芝、日本IBM、NITT、早大、東大、東工大などからの15名に贈られ、東海地区からは奥水教授だけであつた。

●松田 茂樹 現代社会学部教授

日本人口学会普及奨励賞を受賞



松田教授

現代社会学部の松田茂樹教授が日本人口学会「普及奨励賞」を受賞した。家族

や若年雇用の変容、都市と地方の差異、少子化の国際比較など多角的な視点で日本の少子化の全体像を分析して、少子化克服のための具体的政策を提言している。日本人口学会によると、少子化の要因と対策について幅広い観点から考え、諸視点を、専門家以外にも分かりやすく

論じた著作である。『少子化克服への道』として掲げられる政策提言は、一部論争的なものも含まれるが、学術的

知見に基づき説得力のあるものとなっており、少子社会の理解を促進するための著作として評価できる、という選考理由により、普及奨励賞を受賞した。松田教授は「受賞することができて大変光栄です。本書は研究者、マスコミ、国・自治体の政策関係者など幅広い読者に読んでいただいており、少子化に関する知識の普及および間接的な政策形成にも若干の貢献をできたのではないかと考えています。今後も研究をすすめて、少子化対策を提言していきたいと思えます。」と話している。

『コンピュータ・アートの創生
CTGの軌跡と思想 1966-1969』

大泉 和文(工学部教授)著

1960年代後半の日本に登場した国際的に著名な第1世代コンピュータ・アート集団、CTG(Computer Technique Group)の初の包括的な研究書である。一次資料および全メンバーへの取材に基づき、CTGの全作品と活動を詳細に検証した。さらに代表的作品の再現を通じて、初期コンピュータ・アートにおける意義を論考した。

NTT出版 2015年12月15日刊 414頁 本体5,600円+税

Harold Pinter and the Self:
Modern Double Awareness and Disguise in
the Shadow of Shakespeare

細川 眞(国際英語学部教授)著

本書は、イギリスのノーベル賞劇作家ハロルド・ピンターの7作品における「自己」の表象を、「近代の二重認識」とシェイクスピアを背景とした「ディスタイズ」の視座から論じたものである。ピンター特有の謎めいた登場人物とその世界の実態が、「古い二重認識」時代のシェイクスピアとも関連させながらイギリス文学・文化の伝統の中で解明されている。

溪水社 2016年3月刊 155頁 本体3,000円+税

子どもと貧困の戦後史

相澤 真一(現代社会学部准教授)他著

2000年代後半から一気に問題化した子どもの貧困。しかし、歴史的なスパンを広げてみれば、貧困環境にある子どもはこれまで多くいた。私たちは何を看過し、何を忘れてしまっていたのだろうか。本書は、子どもと貧困の戦後を、1950・60年代の社会調査データで当時の実態に実証的に迫り、新聞報道なども織り込んで、立体的に照らし出す。

青弓社 2016年4月25日刊 168頁 本体1,600円+税

年齢とともに伸びていく剣道
—心身融合への剣の巧みさを求めて—

林 邦夫(中京大学名誉教授)著

本書は、著者自身の剣道修行と研究および指導実践の方法論を構築したものである。剣道は何歳になっても強くなれる。年齢ごとに質的転換を図ることにより、最高のパフォーマンスを発揮する方法論を紐解いたものである。

体育とスポーツ出版社 2016年5月5日刊 222頁
本体2,000円+税

2氏に
名誉教授の称号

本学園理事会は、中京大学を今春退職した元教授2氏に4月1日付で名誉教授の称号を授与した。本学の名誉教授称号授与者は計137人。

称号を授与されたのは次の元教授(カッコ内は退職時の所属学部等)。

- ▼北川 薫氏
(スポーツ科学部)
- ▼ノテス・ロナルド氏
(経営学部)

2016年度
科学研究費助成事業
新規22件、継続分38件
総額1億569万円

2016年度「科学研究費助成事業」に本学から新規22件(学術研究助成基金助成金18件、科学研究費補助金4件)が採択され、継続分38件と合わせ総数が60件、配分される総金額は1億569万円となった。新規の応募91件に対して採択21件、採択率は23.1%だった(転入1件は除く)。
※2016年6月末現在。
※期間延長・特別研究員奨励費は含まない。

学術研究助成基金助成金 (新規採択分)			(単位: 千円)
所属・氏名	研究課題名	交付決定額	研究種目
国際教養学部教授 小川 秀司	マカク属の社会の種間差: アッサムモンキーとアカゲザルの社会関係はなぜ異なるのか	1,400	基礎研究(C)
国際教養学部教授 酒井 恵美子	明治期台湾統治資料と国内資料からみた標準語の成立に関する研究	1,700	
国際教養学部准教授 今 有礼	低酸素環境下での無酸素性運動が血管新生因子の分泌に及ぼす影響	1,500	
国際教養学部准教授 太田 めぐみ	姿勢の悪化、体力低下、瘦身志向の歯止めに向けた検討—筋量・筋力に着目して—	500	
国際教養学部教授 長瀧 祥司	暗黙知の認知現象学的研究: 人間性の自然化可能性を探る	600	
国際英語学部教授 中川 直志	tough構文の統語構造の歴史的発達に関する実証的研究	900	
現代社会学部教授 加藤 晴明	奄美における文化の(メディア媒介的な伝承・創生)とアイデンティティ再生の研究	1,000	
総合政策学部教授 大森 達也	ナショナルリスクとライフリスクに対する保障政策の両立に関する理論・実証分析	1,300	
経済学部教授 近藤 健児	タイプの異なる中間国を経由する複数ルートからの不法移民に対する最適規制政策の研究	1,500	
社会科学研究所・特任研究員 東山 京子	台湾総督府専売局文書のアーカイブズ学的研究	1,200	
社会科学研究所・特任研究員 中原 聖乃	核実験被害賠償交渉における相互理解の動態に関する実証的研究	1,300	
心理学部准教授 川島 大輔	高齢者のエンド・オブ・ライフへの態度構造の探索と実践的ツールの開発	700	挑戦的萌芽研究
スポーツ科学部教授 荒牧 勇	トランポリン浮遊中の脳活動	1,800	
法学部准教授 高田 倫子	行政による法の適用の再構成—ドイツにおける動態的・創造的理論の検討	500	若手研究(B)
法学部准教授 小嶋 崇弘	商標の保護により生じる競争制限的効果の解消—非伝統的商標と機能性—	700	
経済学部准教授 英 邦広	非伝統的金融政策実施による所得・消費格差に関する研究	1,200	
経営学部准教授 山崎 喜代宏	新競争要因を創出する製品開発プロセスの解明	700	
工学部講師 鬼頭 信貴	超伝導デジタル回路デバイスのための配線遅延を考慮した自動配置配線手法の確立	1,000	

科学研究費補助金 (新規採択分)			(単位: 千円)
所属・氏名	研究課題名	交付決定額	研究種目
心理学部准教授 高橋 康介	質感認知の異文化比較研究	3,300	新学術領域研究
スポーツ科学部教授 来田 享子	身体文化の多様な価値を共有するためのスポーツ・アーカイブズのモデル構築	13,100	基礎研究(A)
現代社会学部講師 森田 次朗	オルタナティブな学校文化創造のための比較社会学的研究: 日常的実践の可能性	1,300	若手研究(A)
文学部教授 福井 佳夫	六朝文評価の研究	2,600	研究成果公開促進費(学術図書)
特別研究員(DC2) 秋月 秀一	パーツアフォーダンス学習に基づく操作タスクを考慮した3次元物体認識	900	特別研究員奨励費(国内)

リオ五輪代表に 7選手、2コーチ 大学主催の壮行会を初開催



寺本選手



坂本ヘッドコーチ



桑井選手



佐々木コーチ



長谷川選手



松田選手



山本選手



中村選手



佐藤選手

ブラジル・リオデジャネイロで8月に開催されるオリンピック、9月のパラリンピックに、本学関係の7選手と2コーチが

派遣される。代表選手・コーチを激励する大学主催の壮行会が7月17日、名古屋観光ホテルで行われた。

代表に選ばれた現役学生は、体操女子チーム主将を務める寺本明日香選手（スポーツ科

卒業、レジャックススポーツ代表）、競泳コーチとして佐々木祐一郎氏（93年度体育卒、スポーツ振興部）が派遣される。壮行会には、学園・大学の関係者をはじめ、体操、水泳、陸

上各部OB・OG、同窓会、協力会社などから約450人が出席。五輪出場経験のある本学関係者、オリンピックアンズ21人も、駆けつけた。

梅村清英総長・理事長は「練習の成果を存分に発揮し、学術とスポーツの真剣味の殿堂にさらなる歴史を刻んで下さい」と激励した。



主催者を代表して挨拶する梅村総長・理事長

学部3年、レジャックススポーツ）で、ロンドンに続く出場。五輪初の競技、女子7人制ラグビーの桑井亜乃選手（11年度体育卒、陸上競技部出身、アルカス熊谷）、競泳背泳ぎの長谷川純矢選手（15年度スポーツ科卒、ミキハウス）は初出場。同800メートルの松田丈志選手（08年度体育修士、セガサミー）は実に4大会連続となる。

陸上では、棒高跳びの山本聖途選手（13年度体育卒、トヨタ自動車）、十種競技の中村明彦選手（12年度体育卒、スズキ浜松AC）、パラリンピック陸上では400メートル、100メートルに佐藤圭太選手（13年度体育卒、トヨタ自動車）が出場する。いずれもロンドンに続く2度目となる。

さらに、体操女子ヘッドコーチとして坂本周次氏（76年度体育卒、レジャックススポーツ代表）、競泳コーチとして佐々木祐一郎氏（93年度体育卒、スポーツ振興部）が派遣される。壮行会には、学園・大学の関係者をはじめ、体操、水泳、陸上各部OB・OG、同窓会、協力会社などから約450人が出席。五輪出場経験のある本学関係者、オリンピックアンズ21人も、駆けつけた。

硬式野球部

7年ぶり大学選手権出場 東京のOBも球場で応援

硬式野球部は、愛知大学野球の春季リーグ戦で2季連続優勝し、全日本大学野球選手権大会に7年ぶりに出場した。しかし大会では、6月7日に東京・神宮球場で行われた一回戦で奈良学園大（近畿学生）と対戦し、惜しくも1対5で敗れた。

中京大はエース古田尚平投手（現代社会学部4年）が先発。一回表に先制点を奪われたが、その裏、無死一、二塁と相手のミスにも助けられてチャンスを広げ、4番北村渉選手（スポーツ科学部3年）の中前安打ですぐさま追いついた。しかし、二回以降も失点を許す一方、相手のエースを打ち崩すことができなかった。



かった。

中京大の三塁側応援席には、梅村清英総長・理事長、安村仁志学長をはじめ、大学、学園関係者、東京在住のOBらも駆けつけ、時折、小雨が降る中、懸命に声援を送った。

ロボット世界大会8位 中京大の合同チーム奮闘

世界最大級のロボット競技会「ロボカップ2016」が6月30日から7月4日に独・ライプツィヒで開催され、物流の自動化技術を競う「アマゾンピッキングチャレンジ（APC）2016」に、工学部・橋本学教授率いる中京大学と、中部大学、三菱電機の3組織からなる合同チームが参加し、世界の強豪大学に並んで8位となった。

昨年は米・シアトルで開催され、中京大・中部大・三菱電機の合同チームは、世界6位という結果を残した。

今大会では、前回行われた「Pick task」（物を棚から取り出して箱に入れる動作）に加え、「Slow task」（物を棚に補充する動作）も競技として行われた。

今年は全世界から28チームがエントリーし、ビデオ審査や書類・インタビュー審査で予選を勝ち抜いた16チームがドイツでの最終戦に参加し、競技時間15分のなかで、完全なコンピュータ制御で動作する知能ロボットの性能を競った。

中京大学からは、橋本教授や研究室の学生が人工知能高等研究所の支援を受け、高度な人工知能技術を駆使した最新鋭ロボットで参戦、「Pick task」部門で世界8位となった。

中京大学は、得意とする3次元センシング技術を核とする人工知能・知覚技術の開発を担当した。橋本教授は「納得のいく結果とは言えないが、日頃から連携している3組織が一致協力してこのようなロボットを開発できた意義は大きい。学生たちは、中京大学四大綱の一つ『ベストを尽くす』を十二分に実践してくれた。このことが、何よりうれしい。一方、今回の試合を通して、改良すべき技術ポイントが明らかになったので、次回は優勝を狙いたい」と語った。



ロボカップに出場した橋本教授（後列右から5人目）

「ショートビジット」活発

米国、中国の学生受け入れ

国際センターや各学部が海外の大学生を受け入れるショートビジットが続いている。1日だけのケースが多いが、中身の濃い交流が行われている。

5月26日、個別協定校の米国ケネソー州立大学（ジョージア州・KSU）で日本語や韓国語を学ぶ学生17人が訪れた。キャ

ンパスツァーや国際英語学部の授業に参加。KSUの学生4人は清明ホールで大学紹介も行い、今夏に留学を予定している中京大生約120人が聴講した。

森山真吾講師（国際英語）の授業「日本語教授法Ⅰ」では、外国人に日本語を教える方法を学ぶ中京大の1～3年生が、習字、



KSUのプレゼンを聞いた中京大生と安村学長（中央）

折り紙、駄菓子など日本伝統の文化をKSUの学生に教えて交流した。この日のために2週間準備してきた内容といい、KSUのヒブスジェナさんは自分で書いた習字を持ちながら『夢』という字は漢字で初めて覚えた字になりました。特別な字です』と喜んでいた。

また、5月23日には、米国オバイン大学モンゴメリー校（AUM）の大学生、大学院生10人が来学し、経営学部生約50人と交流した。教授同士のつながりで実現した学部としての交流は、昨年に続き2度目の開催となる。

はじめに研究発表が行われ、AUM学生がCSRや若年層のモバイル依存について発表。経営学部の渡辺丈洋教授、向日恒喜教授はトヨタ生産方式や日本

企業における知識の共有などをテーマに発表し、討論した。また、学部生主導の授業として日本の文化や習慣を活用したゲームを楽しんだほか、懇親会も行われた。

この活動を手伝ったのが、経営学部で留学経験のある学生を中心にしたグループ「one world collective」。経営学部の国際化を学生の立場から支援しており、リーダーの花井ひさのさん（4年）は「国際交流のきっかけを提供できるように、これからも活動に取り組んでいきたいです」と話していた。AUMでビジネスマネジメントを専攻するブリアナさんは「中京大学の学生は親しみやすく話しやすい。多忙だけど、たくさん学んで帰りたいです」と話していた。

このほか、米国ウエスタンカロライナ大学が5月17日、中国の蘇州大学が7月17日にそれぞれ訪れた。



学生主導で行われた授業

中京大学の決算

先般、中京大学の2015年度決算が確定しました。各計算書については図表1および図表2のとおりですが、事業活動収支計算書の決算数字を中心としてその概要を説明します。

●事業活動収支計算書（図表1）

事業活動収支計算書は、当該年度の活動に対応する事業活動収入と事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入後の収支均衡の状態を明らかにするために作成されます。

教育活動収支

○学生生徒等納付金

144億92百万円で前年度に比べて1億47百万円減少しました。事業活動収入に占める構成比率は90・1％となっています。構成割合は収入の各科目間の相対的なものでもあり、他の収入科目の増減によっても左右されますが、この構成比率は高い水準が続いています。

○手数料

このうち97・2％が入学検定料です。入学検定料収入は3億96百万円、前年度に比べて17百万円の減少となりました。また、事業活動収入に占める構成比率は2・5％となっています。

○寄付金

特別寄付金が14百万円、現物寄付金が4百万円でした。事業活動収入に占める構成比率は0・1％となつて

います。

○経常費等補助金

事業活動収入に占める割合は4・3％となっています。経常費補助金は6億81百万円で前年度に比べて6百万円の増加となりました。

○付随事業収入

受託事業およびオープンカレッジ、資格対策講座等受講料の収入です。前年度に比べて3百万円の減少となりました。

○人件費

77億24百万円で、対前年度比0・6％の減少となりました。事業活動収入に対する人件費比率は48・0％、事業活動支出に

占める構成比率は53・9％です。

○教育研究経費

50億96百万円で、対前年度比2・9％の減少となりました。また、事業活動支出に占める構成比率は35・5％でした。このうち減価却費は14億82百万円、教育研究経費に占める割合は29・1％でした。

○管理経費

13億54百万円で、対前年度比13・0％の減少とな

りました。その事業活動支出に占める構成比率は9・4％でした。

教育活動外収支

○受取利息・配当金

前年度に比べ2百万円、3・7％の増加となりました。事業活動収入に対する割合は0・4％です。

○借入金等利息

58百万円で、前年度に比べて6百万円の減少となりました。

特別収支

○資産処分差額

86百万円で、前年度に比べて7百万円の減少です。

基本金組入前当年度収支差額

図表1 2015年度 中京大学 事業活動収支計算書（単位：千円）

科目		予算額	決算額
教育活動収支	事業活動収入の部		
	学生生徒等納付金	14,473,765	14,491,758
	手数料	395,874	407,495
	寄付金	10,950	17,569
	経常費等補助金	682,452	684,330
	付随事業収入	230,047	243,125
	雑収入	116,000	123,852
	教育活動収入 計	15,909,088	15,968,129
	事業活動支出の部		
	人件費	7,793,845	7,723,544
教育活動外収支	教育研究経費	5,404,388	5,096,229
	管理経費	1,487,511	1,353,520
	徴収不能額等	24,000	24,000
	教育活動支出 計	14,709,744	14,197,293
	教育活動収支差額	1,199,344	1,770,836
	事業活動収入の部		
	受取利息・配当金	63,900	66,303
	その他の教育活動外収入	0	0
	教育活動外収入 計	63,900	66,303
	事業活動支出の部		
特別収支	借入金等利息	58,328	58,327
	その他の教育活動外支出	0	0
	教育活動外支出 計	58,328	58,327
	教育活動外収支差額	5,572	7,976
	経常収支差額	1,204,916	1,778,812
	事業活動収入の部		
	資産売却差額	780	784
	その他の特別収入	26,484	51,571
	特別収入 計	27,264	52,355
	事業活動支出の部		
（参考）	資産処分差額	95,023	86,043
	その他の特別支出	0	0
	特別支出 計	95,023	86,043
	特別収支差額	△67,759	△33,688
	[予備費]	48,280	—
	基本金組入前当年度収支差額	1,088,877	1,745,124
	基本金組入額合計	△2,706,737	△2,494,038
	当年度収支差額	△1,617,860	△748,914
	事業活動収入計	16,000,252	16,086,787
	事業活動支出計	14,911,375	14,341,663

図表2 2015年度 中京大学 資金収支計算書（単位：千円）

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
学生生徒等納付金収入	14,473,765	14,491,757	人件費支出	7,705,204	7,652,122
手数料収入	395,874	407,495	教育研究経費支出	3,922,378	3,610,709
寄付金収入	10,950	14,050	管理経費支出	1,215,681	1,081,691
補助金収入	688,936	690,814	借入金等利息支出	58,328	58,327
資産売却収入	13,600	13,644	借入金等返済支出	742,110	742,110
付随事業・収益事業収入	230,047	243,125	施設関係支出	762,980	749,042
受取利息・配当金収入	63,900	66,303	設備関係支出	513,991	454,714
雑収入	116,000	123,852	資産運用支出	2,050,030	2,050,018
借入金等収入	0	0	その他の支出	1,405,886	1,449,414
前受金収入	2,397,150	2,509,696	予備費	47,750	—
その他の収入	547,662	544,370	資金支出調整勘定	△429,486	△820,656
資金収入調整勘定	△2,424,012	△2,466,761	翌年度繰越支払資金	10,980,600	12,072,434
前年度繰越支払資金	12,461,580	12,461,580	支出の部合計	28,975,452	29,099,925
収入の部合計	28,975,452	29,099,925			

49百万円。前年度より10億82百万円減少しました。

事業活動収入・事業活動支出

事業活動収入の合計は160億87百万円であり、対前年度比1億34百万円、0・8％の減少となりました。一方、事業活動支出は143億42百万円で、対前年度比2・6％の減少となりました。

●資金収支計算書（図表2）

資金収支計算書は、当該会計年度の教育研究活動に対応するすべての資金の収入・支出の内容を明らかにし、かつ当該会計年度における支払資

金のてん末を明らかにするものです。
各科目については事業活動収支計算書の中で概要を説明していますので、ここでは資金収支計算書の特有な科目のうち主なものについて説明します。

○前受金収入

2016年度入学生の学生生徒等納付金は、春学期分が2016年3月末日までに納入されるため、2015年度の収入とします。

○資金収入調整勘定

期末未収入金と前期末前受金は、現金収受が前年度または翌年度以降行われ、2015年度には資金の流れが伴わないので控除されます。

○施設関係支出

建物・構築物等に対する支出で、名古屋キャンパス0号館の空調整備工事ははじめとした校内整備工事等を行いました。

○設備関係支出

機器備品・図書等の取得のための支出

2015年度 梅村学園の決算

2015年度の梅村学園の事業活動収支計算書は図表3、資金収支計算書は図表4のとおりです。

事業活動収支計算書の事業収入、消費支出の構成比率は図表6、7のとおりです。また、図表8は、事業活動収支計算書関係の財務比率の過去5年間の推移を示しています。

出です。教育研究用機器備品取得のうち主なものは、教室設備関係機器、情報・ネットワーク関係機器、スポーツ関係機器備品等です。

○資金支出調整勘定

期末未払金と前期末前払金は現金支払が前年度または翌年度以降行われ、2015年度には資金の流れを伴わないので控除されます。

※事業活動収支計算書、資金収支計算書の予算額については予備費振替後のものです。

貸借対照表は、決算日における資産および負債、純資産の内容およびあり高を明示し、学校法人の財政状況を明らかにするもので、2015年度の貸借対照表は図表5のとおりです。また、主な貸借対照表の過去5年間の関係比率は図表9のとおりです。

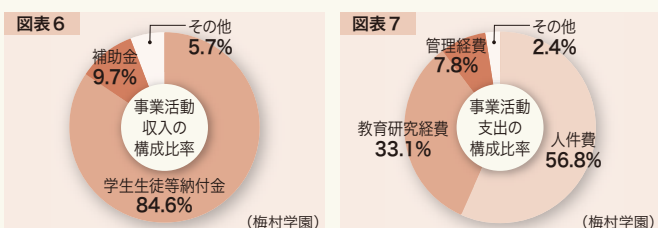
なお、梅村学園の計算書については、公式ホームページにも掲載しています。

(財務部)

科目		予算額	決算額
教育活動収入	学生生徒等納付金	16,181,384	16,198,431
	手数料	462,304	484,501
	寄付金	18,670	25,775
	経常費等補助金	1,810,631	1,854,528
	付随事業収入	230,047	243,125
	雑収入	139,950	154,218
	教育活動収入 計	18,842,986	18,960,578
	人件費	9,968,344	9,890,592
	教育研究経費	6,111,035	5,758,619
	管理経費	1,756,027	1,585,862
教育活動支出	徴収不能額等	24,000	24,000
	教育活動支出 計	17,859,406	17,259,073
	教育活動収支差額	983,580	1,701,505
教育活動外収入	受取利息・配当金	64,096	66,533
	その他の教育活動外収入	0	0
	教育活動外収入 計	64,096	66,533
	借入金等利息	60,240	60,164
	その他の教育活動外支出	0	0
	教育活動外支出 計	60,240	60,164
	教育活動外収支差額	3,856	6,369
	経常収支差額	987,436	1,707,874
	資産売却差額	3,380	3,398
	その他の特別収入	83,701	109,820
特別収入	特別収入 計	87,081	113,218
	資産処分差額	105,973	95,763
	その他の特別支出	0	0
	特別支出 計	105,973	95,763
	特別収支差額	△18,892	17,455
	[予備費]	39,090	—
	基本金組入前当年度収支差額	929,454	1,725,329
	基本金組入額合計	△2,978,766	△2,760,233
	当年度収支差額	△2,049,312	△1,034,904
	(参考)		
	事業活動収入計	18,994,163	19,140,329
	事業活動支出計	18,064,709	17,415,000

収入の部		支出の部	
科目	決算額	科目	決算額
学生生徒等納付金収入	16,198,431	人件費支出	10,235,534
手数料収入	484,500	教育研究経費支出	3,994,598
寄付金収入	21,556	管理経費支出	1,290,329
補助金収入	1,917,429	借入金等利息支出	60,165
資産売却収入	18,964	借入金等返済支出	914,879
付随事業・収益事業収入	243,125	施設関係支出	948,872
受取利息・配当金収入	66,534	設備関係支出	477,330
雑収入	434,889	資産運用支出	2,060,018
借入金等収入	0	その他の支出	1,311,862
前受金収入	2,820,931	予備費	52,190
その他の収入	696,663	資金支出調整勘定	△675,577
資金収入調整勘定	△3,155,788	翌年度繰越支払資金	11,683,554
前年度繰越支払資金	13,268,022	支出の部合計	32,887,872
収入の部合計	32,887,872		33,015,256

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	87,251,997	固定負債	11,078,534
有形固定資産	67,919,098	長期借入金	5,118,658
土地	15,231,710	その他の固定負債	5,959,876
建物	38,143,598	流動負債	5,139,791
その他の有形固定資産	14,543,790	短期借入金	810,465
特定資産	18,772,019	その他の流動負債	4,329,326
その他の固定資産	560,880	負債の部合計	16,218,325
流動資産	13,332,800	純資産の部	
現金預金	12,858,437	科目	金額
その他の流動資産	474,363	基本金	94,657,813
資産の部合計	100,584,797	第1号基本金	92,182,354
		第2号基本金	1,000,000
		第3号基本金	70,459
		第4号基本金	1,405,000
		繰越収支差額	△10,291,341
		純資産の部合計	84,366,472
		負債及び純資産の部合計	100,584,797



比率名	算式	評価	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金/経常収入	～	86.6	86.3	86.1	85.6	85.1
補助金比率	補助金/経常収入	△	8.1	8.4	9.0	9.3	10.0
人件費比率	人件費/経常収入	▼	51.2	55.2	52.5	51.7	52.0
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	～	31.0	28.8	32.4	31.1	30.3
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入	△	4.6	5.8	0.7	6.9	9.0

※経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計 ※経常支出＝教育活動支出計＋教育活動外支出計

比率名	算式	評価	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
純資産構成比率	純資産/(負債＋純資産)	△	86.8	78.7	80.9	82.7	83.9
流動比率	流動資産/流動負債	△	372.4	176.2	222.7	252.9	259.4
総負債比率	総負債/総資産	▼	13.2	21.3	19.1	17.3	16.1
積立率	運用資産/要積立額	△	114.2	93.8	87.1	88.0	85.2

※運用資産＝現金預金＋有価証券＋特定資産 ※要積立額＝満期償却額の累計額＋退職給与引当金＋第2号基本金＋第3号基本金
(注)評価について △高い値が良い ▼低い値が良い ～どちらともいえない と一般的にいわれています

2016年度

中京大学の予算

先般の学園評議員会および理事会におきまして、中京大学の2016年度予算が決定されましたので、概要を説明します。資金収支予算書は表1、事業活動収支予算書は表2のとおりです。

●資金収支予算書(表1)

〈収入の部〉

1. 学生生徒等納付金収入
142億2500万円を計上しました。予算学生数の見込みにより、2015年度予算に比べ1・

5%の減少となりました。

2. 手数料収入

3億9200万円を計上しました。ほとんどが入学検定料です。

3. 補助金収入

6億3600万円を計上しました。国庫からの補助金が主なものです。

4. 付随事業・収益事業収入

オープンカレッジ、資格対策講座の受講料等の公開講座収入が含まれます。

5. 受取利息・配当金収入

受取利息等の収入で、金利の低下に伴い2200万円の減少となりました。

〈支出の部〉

1. 人件費支出

80億6800万円を計上しました。

2. 経費支出

教育関連経費、研究費、学生募集経費など、教育研究経費と管理経費で構成されています。合わせて49億6000万円で、前年度予算と比べ4・5%の減少です。

3. 施設関係支出

豊田キャンパス総合施設整備計画ほか、校内整備などの事業費として19億4000万円を計上しました。

4. 設備関係支出

教室設備、情報機器、図書費などの支出として5億5600万円を計上しました。

●事業活動収支予算書(表2)

1. 事業活動収入

156億5700万円を計上。2015年度予算と比べ2・1%の減少となっています。

2. 基本金組入額

組入額として33億2700万円を計

2016年度 梅村学園の予算

梅村学園の予算も同様に決定されました。その

資金収支予算書は表3、事業活動収支予算書は表4のとおりです。

4. 事業活動収支

予算では、事業活動収入として185億5800万円を計上しました。

2015年度予算と比べ2・3%減少しています。

学生生徒等納付金は、159億

3100万円を計上

しました。各学

校の学生生徒園

児数の見込みに

より、前年度予算

上。前年度予算と比べ6億2000万円増加しました。

3. 当年度収支差額

事業活動収入は事業活動支出を上回っていますが、基本金組入額が大きく、結果として基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した当年度収支差額は、23億5400万円の支出超過が見込まれています。

と比べ1・5%減少しています。また、経常費等補助金は、国庫からの補助金と地方公共団体からの補助金とを合わせ17億6000万円を計上しました。

事業活動支出の予算額は178億1000万円で、前年度予算と比べ6・0%の減少です。人件費は98億1500万円を計上しました。前年度予算と比べ1・6%の減少です。また、各学校の教育研究経費と管理経費は合わせて76億2500万円を計上しました。

経常収支差額と特別収支差額を合わせた基本金組入前当年度収支差額は7億4700万円を計上しました。基本金組入額は36億4400万円で前年度予算と比べ6億6500万円増加しました。したがって、当年度収支差額として28億9700万円の支出超過が見込まれています。事業活動収入は事業活動支出を上回っています。

(財務部)

表1 2016年度 中京大学 資金収支予算書 (単位: 千円)

収入の部			支出の部		
科目	2016年度予算	2015年度予算	科目	2016年度予算	2015年度予算
学生生徒等納付金収入	14,251,131	14,473,765	人件費支出	8,068,102	7,704,674
手数料収入	391,666	395,874	教育研究経費支出	3,744,682	3,921,348
寄付金収入	50,000	10,950	管理経費支出	1,160,909	1,214,991
補助金収入	635,574	688,936	借入金等利息支出	52,215	58,328
資産売却収入	0	13,600	借入金等返済支出	742,110	742,110
付随事業・収益事業収入	190,210	230,047	施設関係支出	1,940,000	762,980
受取利息・配当金収入	41,230	63,900	設備関係支出	555,623	513,991
雑収入	97,000	116,000	資産運用支出	1,550,030	2,050,030
借入金等収入	0	0	その他の支出	750,606	1,405,886
前受金収入	2,397,150	2,397,150			
その他の収入	1,100,000	547,662	予備費	50,000	50,000
資金収入調整勘定	△2,399,150	△2,424,012	資金支出調整勘定	△421,129	△429,486
前年度繰越支払資金	10,980,600	12,461,580	翌年度繰越支払資金	9,542,263	10,980,600
収入の部合計	27,735,411	28,975,452	支出の部合計	27,735,411	28,975,452

表2 2016年度 中京大学 事業活動収支予算書 (単位: 千円)

		科目	2016年度予算	2015年度予算
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	14,251,131	14,473,765
		手数料	391,666	395,874
		寄付金	50,000	10,950
		経常費等補助金	635,574	682,452
		付随事業収入	190,210	230,047
	支出の部	雑収入	97,000	116,000
		教育活動収入 計	15,615,581	15,909,088
		人件費	7,865,048	7,793,845
		教育研究経費	5,243,162	5,403,358
		管理経費	1,423,519	1,486,821
教育活動外収支	徴収不能額等	0	24,000	
	教育活動支出 計	14,531,729	14,708,024	
	教育活動収支差額	1,083,852	1,201,064	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	41,230	63,900
		その他の教育活動外収入	0	0
		教育活動外収入 計	41,230	63,900
	支出の部	借入金等利息	52,215	58,328
		その他の教育活動外支出	0	0
		教育活動外支出 計	52,215	58,328
		教育活動外収支差額	△10,985	5,572
経常収支差額	1,072,867	1,206,636		
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	780
		その他の特別収入	0	26,484
		特別収入 計	0	27,264
	支出の部	資産処分差額	50,000	95,023
		その他の特別支出	0	0
		特別支出 計	50,000	95,023
	特別収支差額	△50,000	△67,759	
	[予備費]	50,000	50,000	
	基本金組入前当年度収支差額	972,867	1,088,877	
	基本金組入額合計	△3,326,646	△2,706,737	
当年度収支差額	△2,353,779	△1,617,860		
(参考)				
事業活動収入計			15,656,811	16,000,252
事業活動支出計			14,683,944	14,911,375

清須会議直前の のぶ かつ 織田信雄書状を入手



新たに中京大学文学部所蔵となった織田信雄書状

中京大学文学部歴史文化学
科の村岡幹生、播磨良紀両教授
が、織田信長の次男、織田信雄
の書状を6月に入手して調べ

書状は山崎の戦い後、美濃に
進軍してきた羽柴（豊臣）秀吉
に宛てた文書。信雄が、三男信
孝と同様に明智残党討伐に参
陣する意向をつづっていた。こ
れまで清須会議前の信雄の動
向は不明だったが、織田家当事
者としての自覚を示した様子
が文書から判明した。

村岡教授は「信雄は、秀吉の
動向について正確な情報がな
く動きがとれず、焦っていたこ
とがわかる。尾張・美濃の鎮静
化に続き清須会議も秀吉主導
で行われ、信雄は後継者になれ
なかった」と話している。

たところ、信長没後の織田体制
を決めた清須会議3日前の貴
重な史料であることがわかつ
た。7月7日に報道関係者に説
明した。

室で行われた記者発表には、新
聞、テレビ5社が取材に訪れ、
興味深い書状の内容に質問が
相次いだ。通信社も報道したた
め、東海地方をはじめ各地の翌
日の新聞に掲載された。また、
名古屋テレビやNHKでも報
道された。

表3 2016年度 梅村学園 資金収支予算書（単位：千円）

収入の部			支出の部		
科目	2016年度予算	2015年度予算	科目	2016年度予算	2015年度予算
学生生徒等納付金収入	15,930,966	16,181,384	人件費支出	10,402,410	10,235,292
手数料収入	466,106	462,304	教育研究経費支出	4,157,188	4,349,405
寄付金収入	51,500	18,270	管理経費支出	1,390,241	1,447,245
補助金収入	1,759,763	1,873,532	借入金等利息支出	52,971	60,240
資産売却収入	0	18,900	借入金等返済支出	810,510	914,886
付随事業・収益事業収入	190,210	230,047	施設関係支出	2,203,500	962,833
受取利息・配当金収入	41,351	64,096	設備関係支出	607,673	543,811
雑収入	301,161	420,505	資産運用支出	1,550,030	2,060,030
借入金等収入	0	0	その他の支出	590,679	1,251,671
前受金収入	2,700,855	2,692,860			
その他の収入	1,309,535	699,954	予備費	54,500	54,500
資金収入調整勘定	△2,871,960	△3,042,002	資金支出調整勘定	△613,628	△675,577
前年度繰越支払資金	11,683,534	13,268,022	翌年度繰越支払資金	10,356,947	11,683,534
収入の部合計	31,563,021	32,887,872	支出の部合計	31,563,021	32,887,872

表4 2016年度 梅村学園 事業活動収支予算書（単位：千円）

科目		2016年度予算	2015年度予算
教育活動収支	収入の部		
	学生生徒等納付金	15,930,966	16,181,384
	手数料	466,106	462,304
	寄付金	51,900	18,670
	経常費等補助金	1,759,763	1,810,631
	付随事業収入	190,210	230,047
	雑収入	117,284	139,950
	教育活動収入 計	18,516,229	18,842,986
	支出の部		
	人件費	10,024,424	9,968,344
教育活動外収支	教育研究経費	5,947,645	6,110,005
	管理経費	1,677,370	1,741,647
	徴収不能額等	0	24,000
	教育活動支出 計	17,649,439	17,843,996
	教育活動収支差額	866,790	998,990
	収入の部		
	受取利息・配当金	41,351	64,096
	その他の教育活動外収入	0	0
	教育活動外収入 計	41,351	64,096
	支出の部		
	借入金等利息	52,971	60,240
	その他の教育活動外支出	0	0
	教育活動外支出 計	52,971	60,240
	教育活動外収支差額	△11,620	3,856
特別収支	経常収支差額	855,170	1,002,846
	収入の部		
	資産売却差額	0	3,380
	その他の特別収入	800	83,701
	特別収入 計	800	87,081
	支出の部		
	資産処分差額	54,000	134,324
	その他の特別支出	0	0
	特別支出 計	54,000	134,324
	特別収支差額	△53,200	△47,243
[予備費]		54,500	54,500
基本金組入前当年度収支差額		747,470	901,103
基本金組入額合計		△3,644,173	△2,978,766
当年度収支差額		△2,896,703	△2,077,663
(参考)			
事業活動収入計		18,558,380	18,994,163
事業活動支出計		17,810,910	18,093,060

貴重書 19



杜若（貴一）
かきつばた

紙毎に色が替わる
能の楽譜

『杜若』は、金春禪竹作かと思われる謡曲。諸国一見
の僧が三河国八橋で杜若に見とれていると、女が
『伊勢物語』の「からころもきつつなれにし」の古歌
を語り、僧を庵に請じ入れる。女は杜若の精だと明
かし、業平は歌舞の菩薩故、その歌は説法の妙文で
あると述べる。さらに業平の女人遍歴を語り舞い、
業平が陰陽（男女交合）の神であることを告げた後、
草木成仏の御法を得て、夜明けとともに消える。
この本は江戸初期に出版された古活字版のうち、
光悦謡本と呼ばれるもの。前回も述べたが、光悦謡本
には帖装本と袋綴本の二種類の装訂があり、帖装本
には特製本、上製本、色替本がある。その中の色替本。
色替本の雲母摺り模様は表紙だけにあり、本文が刷
られた紙にはないが、紙の色が藍、紅など一枚毎に替
わる。

法政大学能楽研究所の
能楽資料デジタルアーカ
イブで画像公開されてい
る同大鴻山文庫蔵の色替
本四十二番には、『杜若』が
含まれていない。そこで鴻
山文庫蔵特製本『杜若』と
比べてみると、本文の字詰
めはほぼ一致するものの、
漢字仮名の違いも含めて
活字が異なり、別版である
ことがわかる。
（文学部教授 柳沢昌紀）

熊本の復興を支援 中京大生が募金活動



募金を呼びかけるCUVE学生の様子

中京大学の学生ボランティア支援団体CUVEの学生らが、熊本地震の被災地の復興支援活動をした。

CUVEは4月25日から約3週間、名古屋キャンパスで募金箱を設置し、昼休みには募金を呼びかけた。中林恵理さん（副代表・文学部3年）は「ネパール地震の募金の時より多くの支援金を集めることができた。皆さんの『支援したい』という気

持ちを直接感じました」と手応えを語った。

豊田キャンパスでは文化会、体育会、学祭実行委員会中心に募金活動を展開した。文化会豊田委員長の大川翔矢さん（現代社会学部4年）は「3団体だけでなく、一般学生も参加してくれるなど、キャンパス全体の活動になりました」と予想以上の広がりを楽しんだ。支援金はCUVEの肥後拓巳さん（経済学部3年）と大川さんが、日本赤十字社愛知県支部へ寄託した。一方、神谷昇吾さん（法学部

2年）は熊本地震の復興支援のため近隣の大学生約20人とボランティア団体GIIFTを結成した。リーダーの神谷さんのほか竹内哲也さん、河野紘希さん（ともに経済学部1年）が所属。募金は愛知ボランティアセンターに寄託した。

被災地を訪ねた神谷さんは「情報が錯綜しているので、自分の目で確かめることが重要だと感じました。東北ではいまだに仮設住宅で暮らしている人がいます。風化させないことが大切だと思います」と話した。

国際教養学部 増田さん サミットで通訳ボランティア

増田成美さん（4年）は、5月に三重県で開催された伊勢志摩サミットで通訳ボランティアを務め、「大学とは全く別の世界を見ることができ、貴重な体験となりました」と語った。

英語とロシア語を学ぶ増田さんは、TOEICは905点を取得、児童英語を教える資格（JSHINE Tec sol）を得るためオーストラリアに2か月留学した経験もある。三重県菰野町の出身で、「学校以外で英語を試してみたい。地元にも貢献したい」と、通訳ボランティアに応募。全国から応募した1003人の



改札で案内を表示する増田さん

中から、書類選考で選ばれた。

増田さんは名古屋駅担当となり、5月25日と28日の2日間、取材に来た海外プレスや外国人観光客およそ10人に駅構内や路線の案内をした。ボランティア仲間、大学生や社会人、年齢も幅広かったが、「英語を使い

たい、三重県を盛り上げたいという共通の目標を持ち、団結できました」という。

「貴重な経験と
なりました」

増田さんは「大学では友人だけでなく外国人の先生など多様な方々と関わりました。そこで学んだ周囲の人と壁を作らずに話す積極性と、プレゼンで身についた立ち振る舞いが役に立ったと思います。英語を使って国際社会に貢献したいという気持ちがいよいよ強くなった2日間でもありました。大学生のうちにしかできないことを後輩にも積極的にやってもらいたいと思います」と振り返った。

プロボクサー田中選手 2階級制覇へ好発進

経済学部3年のプロボクサー、田中恒成選手（畑中ジム）が、世界ミニマム級世界チャンピオンのタイトルを返上し、1階級上のライトフライ級に挑戦した。5月28日、IBF世界ライトフライ級9位のレネ・パティラノ選手（フィリピン）と対戦（ノンタイトル戦、名古屋国際会議場）して6回KO勝ちし、2階級制覇に向けて新たなスタートを切った。

田中選手は第1ラウンドから見事なフットワークと左右的確なパンチで相手をリードした。一方、パティラノ選手も機を見

て前進しながら左右の鋭いパンチを繰り出した。この日の田中選手は動きに精彩があり、後半に入った6R、チャンスと見るや一気にとたみかけてKO勝ちを決めた。

田中選手は試合後のインタビューで、過去ダウンした経験のない相手にKO勝ちし、「パワーをつけることなど（練習で）やってきたことをしつかりやれた」と満足の表情を見せた。これで7戦7勝（4KO）。「僕はまだまだ強くなります。その自信もあります」と年内の2階級王座に向けて力強く言い切った。会場には、梅村清英総長・理事長、安村仁志学長をはじめ学生や同窓生、教職員ら100人以上が応援に駆け付けた。田中選手のチャンスには盛んに応援用スティックを打ち鳴らし、「コーセイ、コーセイ」と大声援を送った。



文学部同窓会が発足 第1回に200人超

中京大学文学部の卒業生たちが、今年で文学部が発足50周年を迎えるのを機に文学部同窓会を結成した。第1回目となる同窓会は6月18日に開催され、同窓生193人と梅村清英総長・理事長や安村仁志学長、文学部教授をはじめとする大学関係者39人の計232人が参加した。

文学部同窓会会長の佐藤隆文学部教授は「これから毎年開催する予定です。皆さんには毎年来ていただきたいと思います。楽しい時間を共有しましょう」



乾杯の様子

と冒頭にあいさつした。同窓生は、ゼミや授業でお世話になった先生に近況を報告するなど交歓した。また、同級生と「久しぶり」と声を掛け合う姿も見られた。

梅村総長・理事長は「今までご支援ありがとうございました。これから中京大学は卒業生同士の連携をより深めていきたいと思っています。ご支援賜りますよう

ご支援ありがとうございます。梅村総長・理事長は「今まで

これから中京大学は卒業生同士の連携をより深めていきたいと思っています。ご支援賜りますよう



大学で知った 勉学のおもしろさが 今につながる

牧さんはこの6月、初の著書『伏字の文化史』（森話社刊）で「全国大学国語国文学会賞」を受賞した。それだけでも名誉なことだが、初版を売り切り、増刷することになった。また『新潮45』といった文芸誌でも取り上げられた。

「この分野の本に重版がかかるのは珍しいこと。もともと博士論文のために書いたものを加筆・修正したものです。その意味でも珍しいと思います」と語った。

大学時代は文学部が改組される前年の国文学科生として学んだ。サークル「ロシア語友の会」では、安村仁志学長から勉学の面白さを教えてもらったという。

よろしくお願いいたします」とあいさつを述べた。

障害学生の支援で FD講演会を開催

障害のある学生の支援テーマにしたFD講演会が5月12日、名古屋キャンパス清明ホールで開かれた。柏倉秀克・日本福祉大学教授による基調講演「障害者



上:「全国大学国語国文学会賞」を受賞した著書
右:研究室で語る牧義之さん

「サークル活動と言ってもいいのもきちんと勉学していたわけではなく、雑談や食事会を通じて



柏倉教授と本学教職員

牧 義之さん

長野県短期大学
多文化コミュニケーション学科
日本語日本文化専攻助教

自分の居場所がそこにある気がしました。大きな気持ちで受け入れてもらっているな、と。いわば安村先生の人となりを通して、漠然とこんな人になれたらいいなと思いました」

研究のイロハは酒井敏教授に、またデータベースの使い方などは大学図書館でアルバイトした時に学んだという。名古屋大学大学院で5年学ぶ傍ら、文学部浅岡邦雄教授に師事した。

「今は週7コマの授業を受け持っています。それ以外にも入試関連業務や各種の委員会、就活のエントリーシートの添削などで時間がいくらあっても足りません」

差別解消法の理念と大学における合理的配慮の後、柏倉教授と中京大学教職員が討論。就学支援や入試の際の問題点等が話し合われた。大学における今後の課題や改善策を共有するとともに、教職員の協力を呼びかけた。

柏倉教授は「キャンパスの中には多くの障害学生がいることを理解し、教職員一丸となり協力していただきたい」と話した。

短大は2年で卒論を書くため、ゼミの指導は大変だが、充実もしている。また市民講座や地元図書館の企画展の講師等へも活躍の場を広げている。

「大学教員は論文を書くことが主たる仕事です。次の出版の予定は今のところないのですが、あと数年くらいの間にまた一冊書けたらと思っています」

ちなみに牧さんのお母様も同じ文学部の卒業生で、三島由紀夫を卒論のテーマにしていた。「この道に進むときに背中を押してくれた家族にも感謝しています」

●愛知県出身。06年中京大学文学部卒。名古屋大学大学院文学研究科人文学専攻日本文化学専門博士課程後期課程単位取得満期退学。博士(文学)。日本学術振興会特別研究員等を経て、15年から現職。

2017年度入試日程決まる

中京大学の入試日程が決まった。AO（アドミSSION・オフィス）入試が10月に、推薦入試が11月、前期日程入試は1月31日、2月1日、3・7日、後期日程入試は3月7日に実施する。

試験区分はA方式、M方式、F方式、得意科目重視型センタープラス方式、センター試験利用方式、推薦、AO入試、そして今年度からグローバル特別入試を新設する。教科・科目や範囲、配点、試験会場など、詳細は「入試要項」を参照。前期日程、後期日程の出願はインターネットのみの受付となる。

◆A方式

最もスタンダードな入試のA方式は、3教科型となつている（スポーツ科学部は実技試験不要の2教科型で実施）。特定の英語の資格（スコア）を有していれば英語の点数を100点満点として判定する（ただし、国際英語学部を除く）。2月3日〜6日まで4日間試験日を設けており、また同日4学科（専攻）までの併願が可能。

給付奨学金、4倍に拡大

今年度からA方式の成績上位者に入学金・授業料などを最大4年間給付（返済不要）する入試成績優秀者給付奨学金の対象者を58名から約4倍の235名に拡大する。※2年次以降の継続については、毎年審査がある。

◆M方式

3教科型、2教科型があり、全問マークシート方式で出題される。2教科型は得点の高い科目の配点が2倍に換算される。3教科型と2教科型の併願が可能で、また、同日各教科型とも最大4学科（専攻）まで併願できる。試験日は1月31日、2月1日の2日間。

◆得意科目重視型センタープラス方式

センター試験の2教科（必須1教科と高得点1科目、配点は各100点）に、中京大学独自の1教科（200点）を加える。国語重視型、英語重視型、数学重視型の3パターンから1つ選択でき、得意教科を生かせる。同じ教科型での併願が、同日4学科（専攻）までできる。A方式と同日併願でき、センタープラス方式単独で実施する2月7日を含め、5日間の試験日を設けている。

◆センター試験利用方式

3科目型、4科目型、5科目型を実施。いずれもセンター試験後に出願ができ、複数学科（専攻）の併願が可能。出願書類とセンター試験結果で合否判定する。

◆推薦・AO入試

推薦入試は、公募制の一般推薦、一芸一能の特I、指定校推薦の特II、専門高校特別推薦の特IIIの4種類およびAO入試がある。

◆グローバル特別入試

2017年度入試より、グローバル特別入試を新設する。「国際バカロレア」資格または、英検やTOEIC®などで各学部が定める一定の資格（スコア）を有していれば受験が可能。

名古屋オープンキャンパス開催

2日間で8,630人

名古屋キャンパスを会場にした「オープンキャンパス」が7月16、17日の2日間開催された。

午前10時の開始から高校生や保護者らが多数訪れ、2日間の来

場数は8,630人と、昨年を若干上回った。

11学部の教授による模擬講義や保護者ガイダンス、河合塾講師による特別講義が行われ、各会場は高校生でいっぱいになった。

今回初めて文化会学生によるクラブ活動紹介が行われ、演劇部や軽音部など21クラブが実演を交え活動を紹介した。

豊田キャンパスのオープンキャンパスは9月18日、現代社会学部、工学部（情報工、メディア工学科のみ）、スポーツ科学部の3学部を対象に開催される。



オープンキャンパス開始直後の様子(ガレリアにて)

アンケートにご協力ください

今後の広報誌改善のため、アンケートにご協力お願いいたします。

下記QRコードから読み取りのうえ、お答えください。

なお、回答していただいたことについては広報誌改善以外には使用いたしません。



2017年度 学部入試日程

試験区分		実施学部	願書受付期間			試験日	合格発表日	
			郵送(消印有効)	窓口受付日	ネット出願			
学園内高校選抜	附属校[特進]	全学部	2017年1月23日 ^月 ～1月24日 ^火	実施せず	実施せず	個別試験は課さない	2月17日 ^金	
	2016年10月31日 ^月 ～11月4日 ^金		11月19日 ^土			11月25日 ^金		
	併設校							
AO入試		国際英語・国際教養	2016年9月6日 ^火 ～9月22日 ^木	9月23日 ^金	実施せず	一次 書類審査 二次 10月8日 ^土	一次 10月1日 ^土 二次 10月14日 ^金	
		スポーツ科	2016年10月17日 ^月 ～11月2日 ^水	11月4日 ^金		11月26日 ^土	11月30日 ^水	
グローバル特別入試		国際英語・国際教養 心理・法・現代社会・スポーツ科	2016年10月17日 ^月 ～11月2日 ^水	11月4日 ^金	実施せず	11月19日 ^土	11月25日 ^金	
		経済・経営・総合政策・工				11月12日 ^土		
推薦入試	一般	全学部 (スポーツ教育・競技スポーツ科学科を除く)	2016年10月17日 ^月 ～11月7日 ^月	11月8日 ^火	実施せず	11月19日 ^土	11月25日 ^金	
	一般(実技型)	スポーツ科 (スポーツ教育・競技スポーツ科学科)	2016年10月17日 ^月 ～11月2日 ^水	11月4日 ^金		11月26日 ^土	11月30日 ^水	
	特Ⅰ	文・法・現代社会 経済・経営・総合政策・工				11月19日 ^土 11月12日 ^土	11月25日 ^金	
		特Ⅱ				全学部 (社会福祉学専攻・競技スポーツ科学科を除く)		11月19日 ^土
	特Ⅲ	経済・経営・総合政策・工				11月12日 ^土		
	前期日程入試	A方式	全学部	実施せず		実施せず	1月6日 ^金 ～1月20日 ^金	2月3日 ^金 2月4日 ^土 2月5日 ^日 2月6日 ^月
M方式		1月6日 ^金 ～1月13日 ^金			1月31日 ^火 2月1日 ^水			
得意科目重視型CP方式		1月6日 ^金 ～1月20日 ^金			2月3日 ^金 2月4日 ^土 2月5日 ^日 2月6日 ^月 2月7日 ^火			
センター試験利用方式 3科目型					個別試験は課さない			
センター試験利用方式 4科目型／5科目型								
後期日程入試		F方式			2月17日 ^金 ～2月27日 ^月		3月7日 ^火	3月17日 ^金
		センター試験利用方式 3科目型／4科目型／5科目型	2月17日 ^金 ～3月10日 ^金		個別試験は課さない			
前期日程入試	留学生	全学部 (言語表現学科を除く)	2016年9月6日 ^火 ～9月21日 ^水	9月22日 ^木	実施せず	10月15日 ^土	10月21日 ^金	
	社会人	全学部 (国際教養・言語表現学科・法を除く)				国際英語・国際教養のみ 10月8日 ^土	国際英語・国際教養のみ 10月14日 ^金	
	帰国生徒	全学部 (言語表現学科を除く)						
後期日程入試	留学生	全学部 (文・現代社会・工・スポーツ科を除く)	2017年1月6日 ^金 ～1月12日 ^木	1月13日 ^金	実施せず	2月7日 ^火	2月17日 ^金	
	帰国生徒	全学部 (文・機械システム工学科・スポーツ科を除く)						
編入・転入・学部(学科)変更試験		全学部 (国際英語・国際教養・言語表現学科・現代社会学科国際文化専攻・工を除く)	2016年9月6日 ^火 ～9月21日 ^水	9月22日 ^木	実施せず	10月15日 ^土 国際英語・国際教養のみ 10月8日 ^土	10月21日 ^金 国際英語・国際教養のみ 10月14日 ^金	

※窓口受付時間、ネット出願締切日の受付時間は16:00まで。

入試に関する詳細は、入試要項を参照してください。

お問い合わせ先 **中京大学入試センター TEL.052-835-7170(直)**

188号のトピックス



名古屋オープンキャンパス2日間で8,630人 (p.14)



第1回文学部同窓会が開催される (p.13)



鈴木大地長官講演会に約480人 (p.2)

しなやかに挑み続ける新生・中京大学



〈発行〉 中京大学 広報部

〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2 TEL.052-835-7111(代)